

認定こども園〇〇〇園 月間指導計画 3歳児4月

月初めの園児の姿	●登園時、保護者から離れず泣いたり何をしたらよいかわからず立ちすくんだりするなど、不安や緊張がいろいろな姿となって現れる。 ●保育教諭等と一緒にすることで、身支度のやり方を覚える。	配慮すべき事項	子育ての支援	園行事及び園事業
月のねらい	●新しい環境に慣れ、安心して生活する。 ●春の自然に触れながら、保育教諭等や友達と好きな遊びを見つけて楽しむ。			

週	1週	2週	3週	4週
週のねらい	●保育教諭等に親しみを持つ。 ●自分の物や場所を知り、安心感を持つ。	●生活の流れを知り、自ら進んで身の回りのことをしようとする。 ●身近な春の自然に触れ、戸外の心地よさを味わう。	●好きな遊びを見つけて、友達と関わりながら遊ぶ。 ●用具の使い方を覚えて、楽しく製作する。	●保育教諭等や友達と、戸外遊びや製作活動を楽しむ。 ●身の回りのことを積極的にしようとする。
教育時間	●名前を呼ばれたら元気に返事をしたり、挨拶をしたりする。 ●興味をもった遊具で遊んだり、保育教諭等と一緒に歌や手遊びを楽しむ。	●できないところは援助してもらいながら排泄や手洗い、持ち物の始末を行う。 ●園内のいろいろな場所を探検したりし、友達と一緒に戸外遊びを十分に楽しむ。	●はさみ、糊などの用具を使い、楽しみながらこいのぼりの製作をする。 ●月刊絵本や紙芝居を見ることを楽しむ。	●散歩に出かけ交通ルールを確認したり、春の自然に触れることを楽しんだりする。 ●避難の合図やルールを知り守ろうとする。
■環境構成 ★援助・配慮	■自分の場所が分かるように、ロッカーや机に個別のシールを貼る。 ★園児の様子を見守りながら適切な援助を行い、緊張を和らげる。 ★不安を感じている園児に寄り添い、友達との関わりを伝えながら遊びに誘う。	■園内のいろいろな場所を訪問し、担任以外の保育教諭等にも関わられるようにする。 ★手遊びをしたり、個別に遊びに誘ったりして楽しさを感じられるようにする。	■製作に必要な材料は多めに用意しておく。 ■こどもの日にちなんだ絵本を読んだり、こいのぼりを飾って興味をもてるようにする。 ★個人差に配慮し、用具の使い方を丁寧に伝える。 ★指示や合図をくり返し伝えるようにする。	■散歩コースは下見をし、交通ルールを知らせて守るように話をする。 ★グループや集団遊びになじめない子には、個々に声を掛け、本人の意思を尊重しながら遊びに誘う。
教育時間を除いた時間	●トイレや手洗い場など、生活に必要な場所の使い方を知る。 ●戸外で元気に遊ぶ。	●友達の遊ぶ姿に興味をもち、一緒に好きな遊びを楽しむ。 ●給食に慣れ、喜んで食べる。	●好きな玩具や遊具で元気に遊ぶ。 ●園での決まりや約束事を知り、守ろうとする。	●戸外で友達や保育教諭等と関わりながら、元気に遊ぶ。 ●散歩での様子を話し合ったり、春の植物について絵本や図鑑で調べたりする。
■環境構成 ★援助・配慮	■固定遊具や用具の点検をし、安全に遊べるようにする。 ■物の配置を工夫するなど、危険のないよう配慮し室内で自由に遊べるようにする。 ★健康状態を把握し、安心感を育むように接する。 ★落下の危険のある遊具は、そばで遊びを見守るなどの配慮をする。	■個人の持ち物の置き場所を特定し、園児が自分で確認できるようにする。 ★絵本、紙芝居を読んだり、スキンシップをしたりして落ち着いた時間をもてるようにする。 ★給食の配膳の仕方や、椅子の座り方を個別に知らせる。	■顔色や表情を確認しながら、受け入れをする。 ★疲れている様子が見られたら、集団から距離を置いて寄り添うなど、緊張が緩和できるようにしていく。	■室内の玩具の位置や種類を変えたり遊びに工夫を加えたりして、関心をもち続けられるようにする。 ★玩具の取り合いになったときは、順番や交代で使うことの大切さに気付くよう言葉掛けをしていく。
教育・保育に対する自己評価	●名前を呼びながらスキンシップや言葉掛けをたくさんすることで、安心して園生活ができるようになった。	●一日の流れを少しずつ伝えていくことで、身の回りのことを自分から行おうとする姿が見られるようになった。	●見本を示しながら、ゆっくりと丁寧にやり方を伝えたことで興味をもち、製作を楽しむことができた。用具の使い方は個別に時間をかけて行っていきたい。	●園外活動での危険を知らせたり合図したりする笛の音や、交通ルールを前もって知らせたことでだけでなく楽しむことができた。